

演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-402
必修 2単位

若山 昇

1. 授業の概要(ねらい)

正しい方法で考えることができる人になる。

現代は様々な情報があふれており、情報を十分に吟味し、体系的に理解し、意思決定を的確に行うためには、論理的な思考は不可欠である。

この論理的思考(クリティカルシンキング)は、就職試験でも重要になっている。

本ゼミの目的は、論理的な思考の方法を学び、これを確実に身に付け、使えるようにすることである。

論理的な思考を行なうために、覚える事は多くない。しかし、学んだことを使えるようにするのは、難しい。

つまり、論理的な思考が、わかることと、解けることは異なる。さらに、解けることと、使えることも、異なる。

ゼミでは論理的な思考に必要な知識を、「わかった」⇒「解けた」⇒「使えた」と、確実に習得して、

正しく論理的に考える習慣を身につける。

このため、ゼミでは討論やプレゼンテーションを積極的に取り入れる。

2. 授業の到達目標

正しい方法で考えることができる人になることが、授業の到達目標である。このため、

① いつでもどこでも論理的な思考が実践できるように、情報を整理分析し論理的に考える習慣を身に付ける。

② そのため、学んだ知識を「わかった」⇒「解けた」⇒「使えた」と、確実にステップアップする。

③ さらに、ゼミ活動の成果を論文にまとめて外部で発表することを目指す。

■授業方法:

ゼミの主役を学生とし、グループ活動・討論・発表を主体とする。教員はファシリテータとする。

なお、授業においてインフォーマル・ラーニングの専門家による招待講演を行う場合がある。

3. 成績評価の方法および基準

*定期試験は行わない。

*発表・討論等によるゼミ貢献度(50%)、課題等の提出(50%)を総合して評価する。

■評価の基準(達成レベルと成績の目安):

S: 特に優秀であり、論理的な思考を、いつでも、どこでも十分に使いこなすことができる。

A: 優秀であり、教科書を見れば、論理的に思考することができる。

B: 教科書程度ならば何とか理解でき、課題・問題ならば、何とか解くことはできる。

C: 教科書を理解することや課題・問題を解くことが、難しい。単位取得の最低レベルにすぎない。

4. 教科書・参考文献

教科書

若山 昇(著) 『誰でもわかるクリティカルシンキングーそれってホント?』 北樹出版

参考文献

ジョナサン・ヘイバー(著), 若山 昇(監訳), 寺上 隆一(訳) 『クリティカル・シンキング』 ニュートンプレス
渡辺健介(著) 『世界一やさしい問題解決の授業』 ダイヤモンド社

5. 準備学修の内容

発表課題では、当該課題をPowerPointにまとめること。

専門知識は不要であるが、授業には積極的に参加すること。

6. その他履修上の注意事項

*論理的思考(I II III IV)をすでに履修済み、あるいは並行して履修し単位修得をすることが必要である。

*きちんと学習すれば、今後の人生において必ずプラスになるので、

討論やプレゼンテーションに積極的に参加するべきである。

*また、単位制度の観点による学習時間確保のため、Web等による補講が必要な場合は、授業の進捗状況を鑑みて、別途指示する。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、内容・方針の説明
- 【第2回】 担当テーマの決定、分析方法
- 【第3回】 論理的な思考による事例分析 (入門)
- 【第4回】 論理的な思考による事例分析 (基礎)
- 【第5回】 論理的な思考による事例分析 (応用)
- 【第6回】 論理的な思考による事例分析 (発展)
- 【第7回】 論理的な思考による事例分析 (活用)
- 【第8回】 論理的な思考による事例分析 (まとめ)
- 【第9回】 学生グループによるプレゼンテーション・討論 (入門)
- 【第10回】 学生グループによるプレゼンテーション・討論 (基礎)
- 【第11回】 学生グループによるプレゼンテーション・討論 (基礎)
- 【第12回】 学生グループによるプレゼンテーション・討論 (発展)
- 【第13回】 学生グループによるプレゼンテーション・討論 (発展)
- 【第14回】 学生グループによるプレゼンテーション・討論 (活用)
- 【第15回】 今期の復習・総まとめ